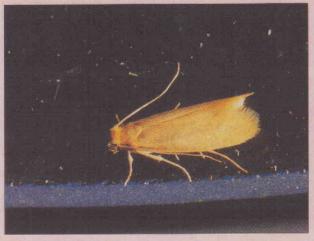
繊維を食べる蛾





●成虫(開張 1)約13mm)



●幼虫(体長約8mm)



●食害されたフェルト

蛾のなかには、幼虫が動物性の繊維に被害を与 える種類があります。イガ(衣蛾)やコイガ(小衣蛾) です。

形態と被害

成虫は小さな蛾で、翅の開張¹¹は13mmほど です。光沢のある薄い黄色をしており、翅には紋 がありません。

幼虫は成長すると体長8mmくらいの、白く細 長いイモムシ状になります。

幼虫が毛織物や毛糸、羽毛などを食害し、穴 をあけます。被害を受けた布などの上に繊維や 糞をつづりあわせて、トンネル状の通路をつくる のが特徴です。

コイガによく似たイガという種類もあり、加害の ようすはコイガと同じです。成虫の翅は光沢のあ る灰色で里点があり、幼虫が繊維や糞をつづっ た巣2)を背負って歩く、などが違う点です。

なお、毛織物などの被害はイガやコイガよりも、 ヒメマルカツオブシムシの方が多くみられます。

防除

洋服ダンスなどの中で蛾が何匹も見つかったら、 念のために衣類を調べ陽に干してください。ウー ル製品や毛糸は、防虫剤を入れて密閉した袋な どに収納するのがいちばん良い方法です。



¹⁾ 頻を左右いっぱいに開いた時の翅の先から先までの幅

²⁾ミノムシのように管状に作った巣